

研修No12 受講者募集

指導者養成講座【培養液編】

【特定非営利活動法人植物工場研究会・千葉大学 主催、一般社団法人日本施設園芸協会 共催】

ご案内

千葉大学環境健康フィールド科学センターでは、下記の要領で2018年度の研修を実施いたしますのでご応募ください。

講座の狙い

- 千葉大学では、植物工場に関するコンサルタント育成を目的として、「環境制御」・「養液栽培」・「病虫害防除」の3つの講座を新規に企画しました。
- 第二弾は、培養液管理のポイントを理解し、制御や改善について社内・社外でコンサルができる人材を育成する二日間の充実したプログラムを実施します。



太陽光型植物工場

募集要項

- 受講対象 : 1. 植物工場事業に興味を持ち、真剣に事業参入を考えている生産者、個人、企業の方。
さらに、現在植物工場栽培に従事している技術者で、コンサルタントを目指している方。
2. 2013年度以降に千葉大学・NPOで開催された培養液管理研修を受講し、修了証を受け取った方を対象としますが、未修了で受講を希望される方はご相談ください。

受講場所 : 千葉大学環境健康フィールド科学センター 植物工場研修棟A棟1階 研修室

受講費用 : 一般 40,000円/人 植物工場研究会会員 32,000円/人 (消費税、教材費等込)

募集人数 : 20名程度

講座責任者: 篠原 温 (千葉大学 名誉教授)・塚越 覚 (千葉大学 准教授)

応募方法 : 受講申込書に必要事項をご記入の上、E-mail またはFAXにてお申込みください。

受講確定 : 申込書先着順に「内定通知」のご連絡をさせていただきます。

受講料は「内定通知」に記載の手順で振込期限内にお振込みください。

お振込み確認後に受講確定となり「受講確定」のご連絡をさせていただきます。

なお、一度納入された受講料は返還できませんので予めご了承ください。

持ち物 : ノートパソコン(Excelを使用します)

募集期間 : 10月2日(火)~11月7日(水) * 定員に達し次第締切

開講期間

2018年11月12日(月)~11月13日(火) 計2日間 初日9:45受付開始

| | 8:50~10:20 | 10:30~12:00 | 12:00~13:00 | 13:00~14:00 | 14:10~15:40 | 15:50~17:50 |
|--------|-------------|-------------|-------------|---------------|-------------|-------------|
| 11月12日 | 開講式(10:15~) | 講義 | 昼休み | 講義 | 講義 | 講義 |
| 11月13日 | 講義 | 講義 | 昼休み | ディスカッション、質疑応答 | 修了式 | |

※講義の課題や日程、講師等の詳細スケジュールは今後多少変更の可能性があります。詳細は講義初日に配布いたします。



人工光型植物工場

申込・問合せ先

国立大学法人千葉大学環境健康フィールド科学センター内
特定非営利活動法人植物工場研究会
〒277-0882 千葉県柏市柏の葉6丁目2番1号
TEL: 04-7137-8312 FAX: 04-7137-8312
URL: <http://www.fc.chiba-u.jp/plant-factory/>
E-mail: plant-factory@office.chiba-u.jp

2018年度植物工場

研修No12

指導者養成講座(培養液編) (11月12日～11月13日)

～培養液管理のポイントを理解し、制御や改善について社内・社外でコンサルができる人材を育成する～

| | | I (8:50～10:20) | II (10:30～12:00) | 昼休 | III (13:00～14:00) | IV(14:10～15:40) | V(15:50～17:50) | 18:10～ |
|-------|---|--|---|----|--|--|---|--------|
| 11/12 | 月 | | 培養液の設計の復習と演習 | | 濃度管理と吸収速度管理 | 養分の欠乏と過剰 | 培養液管理の実際 | 懇親会 |
| | | 受付:9:45～ 開講式:10:15～ 理事長挨拶 受講案内 | 養水分吸収特性の把握 原水中の重炭酸の調整 調整済み原水中のイオンを考慮した培養液の設計 | | 濃度管理とは 施肥速度管理とは 施肥速度管理用の 施肥量を計算してみよう | 必須元素の欠乏と過剰 特にCa欠乏について、 その原因と対策 (拮抗作用, スターター培養液と追肥培養液など) | N施肥の量的管理による長段密植栽培 (イワタニアグリグリーン:玉城鉄) 極少量培地耕における培養液管理のポイント(静岡大学名誉教授,アグリビジネス研究所:糠谷明) | |
| | | NPO植物工場研究会 古在豊樹 | 千葉大学 塚越覚 | | 塚越覚 | 千葉大学 丸尾達 | 玉城 鉄・糠谷 明 | |
| 11/13 | 火 | 培養液管理の最適化の実例 | 培養液分析データの診断と指導 | | 宿題についてディスカッションおよび全体の質疑応答 | | 修了式 | |
| | | それまで行っていた管理と問題点 改善のために指導を受けたポイント 培養液分析データの収集と解析改善で 何がどう変わったか (使用水量, 吸水量, 肥料吸収量, 肥料吸収速度, 欠乏症, 水や肥料の 使用量, pHの変化など) | 実際のデータと診断 一回限りの分析データで分かる こと 実際にどんな指導をするのか 濃度管理での指導 吸収速度管理での指導 どのデータを どのように使うのか | | あらかじめ受講生にいくつかの課題を提示し、簡単なレポートにまとめていただき、研修初日に提出していただきます この時間に何人かの代表者に発表してもらい、受講生と講師陣が課題別にディスカッションし、コンサルの方法を追求します また、残りの時間は質疑応答とします | | 修了証授与 | |
| | | Jファーム 竹内秀智・講師陣 | 千葉大学名誉教授 篠原温 | | 篠原温・丸尾達・塚越覚 | | | |

※講義の課題や日程、講師等の詳細スケジュールは今後多少変更の可能性があります。詳細は講義初日に配布いたします